

平成30年度 インターグループホーム 事業計画

事業所名	インターグループホーム		
施設長・管理者	施設長：児玉 和也（兼務） 管理者：蓑山 幸恵		
実施事業	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護		
開設年月日	平成17年12月1日		
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-12		
正規職員数	1名		
臨時職員数	13名		
パート職員数	2名		
定員	18名	目標利用者数17.6名/日	利用率98%
職員配置	管理者兼介護支援専門員 1名・介護職員13名 夜間専門員 1名 ・ 清掃員 1名 計16名		

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し、家庭的な環境のもとで一人おひとりの力を引き出せるよう支援します。また、ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関と連携を図りながら適切な対応に努めます。

地域の一員として、地域活動を通じ馴染みの関係築き、大切にしていきます。

2 運営理念

- (1) ご利用者様の今までの生活を把握し、その人らしい生活ができるよう支援します。
- (2) アセスメントを行い、一人おひとりの持っている力を引き出せるよう支援します。
- (3) 個人を尊重し、側面からご利用者様を支え、思いを大切にすることで、安心感が得られるよう支援します。
- (4) ご利用者様の心身の状態を把握し、安心して適切な医療が受けられるよう支援します。
- (5) 地域との関わりを大切にし、地域の一員として様々な人々との交流が図れるよう努めます。
- (6) 提供するサービスの質の評価を行い、改善を図るよう努めます。
- (7) 生活支援
 - ①ご利用者様の心身の状況、希望等に沿ったケアプランをご本人様、計画作成担当者、家族様と協議の上援助の目標、具体的なサービス内容を作成し支援を行います。また、必要に応じて介護計画の変更を行い、家庭的な生活環境のもとで自立した生活を送れるよう支援していきます。
 - ②生活リハビリとして、ご利用者様の状態を見極め、個々に合った生活動作を支援していきます。
 - ③外出を行いながら四季折々の景色を感じていただき、画一的な支援ではなく、ご

利用者様を主体とした個別支援をしていきます。

3 主な事業活動

(1) 施設整備事業活動

フローアー・居室・トイレのクロス張替え工事 304千円

(2) 事業活動

- ①畑では小麦やブルーベリーを作り、パンやジャム製作を目標として、年間を通し、ご利用者様に作って食べる喜びを提供していきます。
- ②地域の皆様にも散歩コースをより楽しんでいただけるように、バラ園を作り地域景観の潤いや交流に努めていきます。
- ③7月に近隣施設と合同のそうめん流し、年1回地域交流カフェを開催。地域の関係機関や住民の皆様をご招待し、地域の一員として交流を深め、地域資源として認識していただけるよう努めます。
- ④近隣施設と合同で、ご利用者様と子どもたちのふれあいを目的としたカフェを開催し、子どもたちの認知症の理解を深めていきます。また、子どもたちとふれあうことで、ご利用者様の活力を引き出していきます。

4 安全管理・衛生管理

- (1) ヒヤリハット活動を徹底し、分析・報告して行き、ご利用者様に安心・安全な生活していただけるよう、事故防止をはじめ設備・備品の安全管理を行いながら、環境整備に努めます。
- (2) 衛生管理・衛生教育を行い、感染症予防の周知、徹底を図ります。

5 防火・防災・救助体制

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) ご利用者様の安全を第一に、防火管理者が現状に即した防火・防災・避難訓練の計画実施を毎月行います。
- (2) 防災活動への参加、地域防災情報の把握等、有事に迅速な対応ができる環境整備を毎月行います。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通じて職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修・発表会への参加

認知症実践者研修、介護専門職研修等への参加を通じ、知識や技術の習得に努める施設と共に、モチベーションアップを図ります。

(2) 法人内部研修への参加

法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加し必要な知識、各種の介護技術の取得を図ります。

(3) 施設内研修の実施

- ①年間計画に沿った施設内勉強会の実施や、外部研修で学んだことの伝達研修など

行い、個々のスキルアップを目指します。

②実務経験の少ない職員については、知識や技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、職員全体のレベルアップを図ります。

(4) 職員の資格取得のための取組

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、キャリアアップ・知識及び実技の習得について既得職員等に介護福祉士などの資格取得を促します。

7 各種団体との地域交流

ご利用者様とご家族様や保育園、地域・団体等との交流の場を設ける等しながら、社会の一員として積極的に社会交流が図れるよう努めます。

グループホームが立地する地域へ積極的に出向き、地域住民の方の理解と協力制の確立を目指していきます。

地域住民、各種団体、保育園等との交流を積極的に取り入れ、地域に開かれたグループホーム作りを推進していきます。

学生、傾聴、囲碁、介護ボランティア等の受け入れを行い、グループホームやご利用者様への理解へ繋がるよう努めます。

(1) 広報誌の発行・配布

発行回数：4回／年、

配布先：倉吉市、地域包括センター、地区公民館、地元自治会、など

(2) 地域交流行事

家族交流会 5月・11月（予定）

福祉の里夏まつり 8月

敬老会 9月（予定）

福祉の里文化祭 11月

8 年間行事等

別紙のとおり